

令和5年度群馬県立高崎東高等学校2学期始業式式辞

皆さん、こんにちは。令和5年度の2学期が始まりました。昨今、「始業式ブルー」、「夏休み明けの注意期間」など、2学期が始まることへの不安、学校が始まることへの憂鬱さなどを現している言葉があります。また8月末の某チャリティ番組のマラソンのゴールを見ると、夏休みが終わってしまうと改めて実感するという声も聞きます。似たようなことは、日曜日の夕方「サザエさん」を見ると、楽しかった週末が終わってしまうと思えて暗くなる、というのと似ているでしょう。ただし週末に比べ期間の長い夏休みは、その喪失感が大きいのだと思います。

そこでみなさんに話したいことは、実は何度も話していることなのですが、第三者的立場から自分を見つめるということ、そしてその際に少しでも成長している所があれば積極的に認めてあげること、つまり自己肯定感を発揮して欲しいということです。例えば、夏休みの間はこれを頑張ることができた、ということがあればそれを積極的に認めてあげましょう。計画を立てたのにできなかったことがあれば、できなかったその事実を自分で確認しましょう。できなかった事に対して、人間は言い訳をしがちです。言い訳せず、できなかったことを素直に認められる自分を肯定しましょう。

次に今日から夏休みとは異なる生活サイクルが始まるので、自分にあったルーティーンを作りたいと思います。これも昨年から言っていることです。

本日も暑くなるようです。体調に気をつけながら長期休業明けをみんなで乗り切っていくきましょう。

夏休み明けの心配は、皆さんの家族や高崎東高校の職員だけでなく、群馬県としても心配をしていること、そして様々な呼びかけで注意を喚起していることを皆さんにも知って欲しいと思います。そこで式辞の最後に、教育長から届いているメッセージを代読します。

中学生・高校生のみなさんへ

夏休みが終わり、学校生活が始まりますが、みなさんは今どんな気持ちでいますか。勉強や進路の問題で悩んだり、ご家族との関係、あるいは友人関係などで、不安や悩みを抱えていたりする人もいないのでしょうか。

みなさんだけでなく、誰にでも悩みや不安はあるものです。みなさんには、ぜひ、一人で抱え込まないで、家族、先生、スクールカウンセラー、周りの友だちなどに悩みや不安を話してほしいと思います。誰かに話すことで気持ちが楽になることがあると言われています。

どうしても身近な人に話しづらいときには、「子ども教育・子育て相談」や、「24時間子供SOSダイヤル」などの電話相談や、「ぐんま高校生オンライン相談」などのLINEによる相談ができる場所もあります。必ずしも自分の名前や学校を言う必要はありません。大切なのは、あなたが一人で抱え込まず、誰かとつながることだと思っています。

また、「何かあったらお互いに相談しよう。」という雰囲気を、みなさん同士でつくっていくことも大切です。あなたの周りで悩んでいる人がいたら、ぜひ、声をかけてみてください。

群馬県教育委員会は、学校の先生方とともに、みなさんを全力で応援します。みなさんは一人ではありません。みなさんが安心して、毎日充実した生活を送ることができるよう願っています。

令和5年8月 群馬県教育委員会
教育長 平田 郁美

以上です。

令和5年8月29日

群馬県立高崎東高等学校 校長 関口 俊邦